



生

物多様性の問題というと、絶滅危惧種や侵略的外来種の問題だと考えられることが多いが、生物多様性や生態系がもたらす生態系サービスを考えると、実は人間の生活に密着した問題である。生態系サービスのかなりの部分は、無償で得られるものと考えられてきたが、生態系・生物多様性の劣化によってさまざまな社会的コストが発生している。近年は生態系サービスのタダ乗りを防いでその管理に必要な様々なコストを受益者が負担し、持続的に生態系サービスを利用しようとする仕組みがいくつか提案されている。それは、私たちの日常生活や企業活動、さらには金融も巻き込んだ動きになっており、単に生態系や生物多様性を保護する、というだけの問題ではなくなっている。この講演では、こうした最近の動向について紹介したい。

生態系・生物多様性を利用した

持続可能な社会

講師：中静 透氏

(総合地球環境学研究所 特任教授)

profile (なかしずか とおる)

1956年生まれ。千葉大学理学部卒、同大学院理学系研究科修士課程修了。大阪市立大学大学院理学系研究科後期博士課程単位修得退学、理学博士。農林水産省林野庁、森林総合研究所、農林水産省熱帯農業研究センター等で勤務後、京大学生態学研究センター教授、東北大学大学院生命科学研究科教授を経て、現在総合地球環境学研究所プログラムディレクター・特任教授。専門は植物生態学、森林生態学。著書に『森のスケッチ』、『森林の変化と人類』（共編著）、『生物多様性は震災復興にどんな役割を果たしたか 東日本大震災からのグリーン復興』（共編著）など。日本林学会賞、みどりの学術賞（内閣府）、日本生態学会賞など受賞。

2020年

2/1

土

14:30 ~ 16:00

(14:00開場) 入場無料・参加申込不要

会場：東北大学百周年記念会館
川内萩ホール会議室 (仙台市青葉区川内 40)

会場案内



◎地下鉄：ルート① 仙台市営地下鉄東西線「国際センター駅」下車。西1出口より徒歩約5分。(扇坂階段経由) / ルート②「川内駅」下車。南2出口より徒歩約7分。
◎タクシー：仙台駅より約10分。